



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Synergy

奥行き寸法注意点

日本ヒューレット・パカード合同会社

2021年3月4日

SYNERGY ラック搭載時の注意点

- 筐体(フレーム)寸法に考慮が必要

- 筐体の奥行きは、一般的なラックマウントサーバーに比べて長く、ラッキングにはより多くのスペースが必要です。各部奥行き寸法は次ページをご参照ください。

- HPE製ラックの場合、奥行き1200mm仕様のラックが推奨

- HPE製の奥行き1000mm、1075mmラック搭載時には、背面側でのケーブル取り回し、収納のスペースが制限されます。後述の実機検証例をご参照ください。
- 実機検証例はあくまでも、HPE製ラックの場合です。HPE以外の他社製ラックへの搭載可否は、実機での確認をお願い致します。



Synergy 1200フレーム



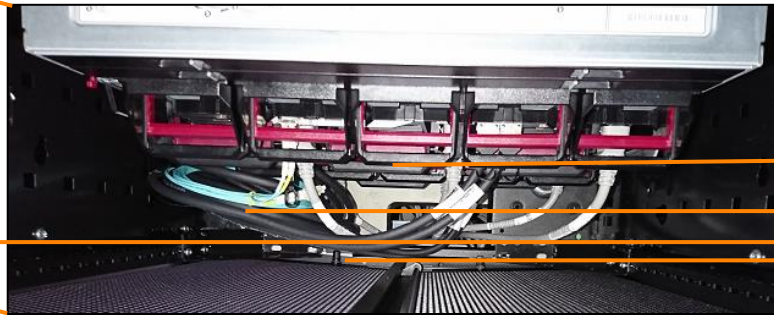
各部奥行き寸法

リアアングルから電源ケーブルまで

190

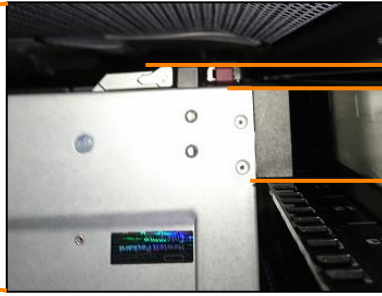
リアアングルから
電源ハンドルまで

137



【注】

- ・単位はmmです。
- ・寸法は参考値です。
精度を保証するものではありません。
搭載の可否判断は、実機での確認を
お願い致します。



フロントアングルから電源ハンドルまで

880

フロントアングルからFCケーブルま
で

910

フロントアングルから電源ケーブルまで

934

フロントアングルからDACケーブルまで

950

全長最大(DACケーブル、サーバー突起含
む)

1010

44

フロント
ベゼル

60

サーバー
最先端

実機検証①: 奥行き1075MMラック

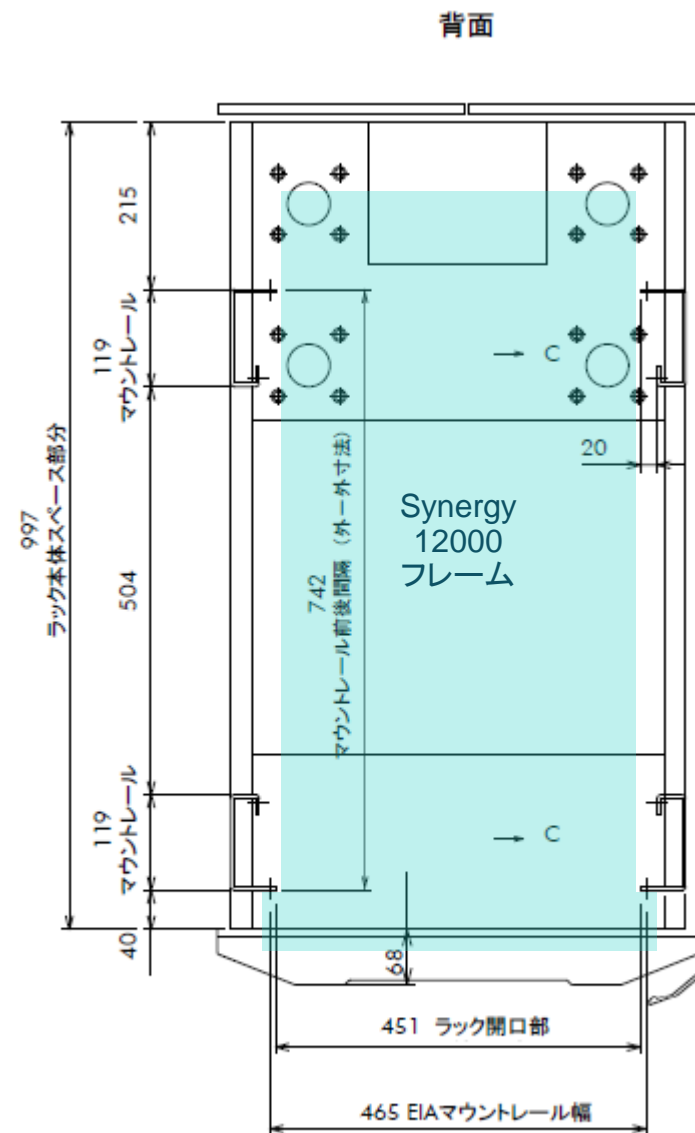
• HPE 642 1075mm インテリジェントラックの場合

- リアドアまでの間隔が狭く、ケーブルを取り回すためのスペースが限られます。
1200mmラックのご利用をお薦めします。



電源ハンド
ルからラッ
ク後端まで
100

フレームから
ラック後端まで
151



正面

実機検証②:PDU設置時の考慮点

• HPE 642 1075mm インテリジェントラックの場合

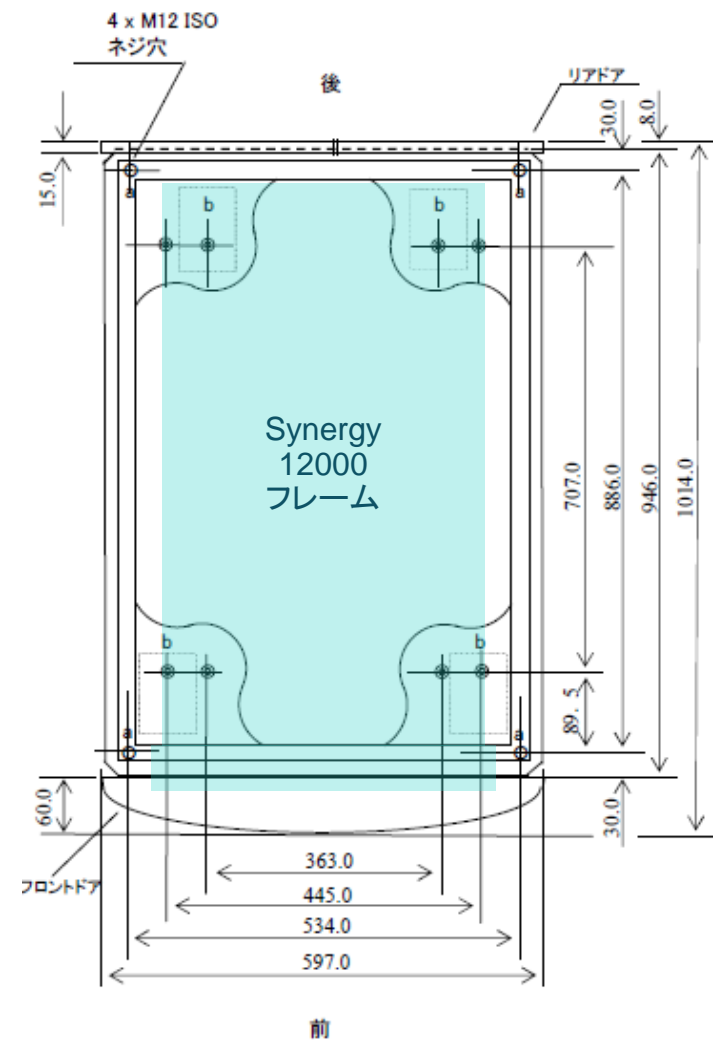
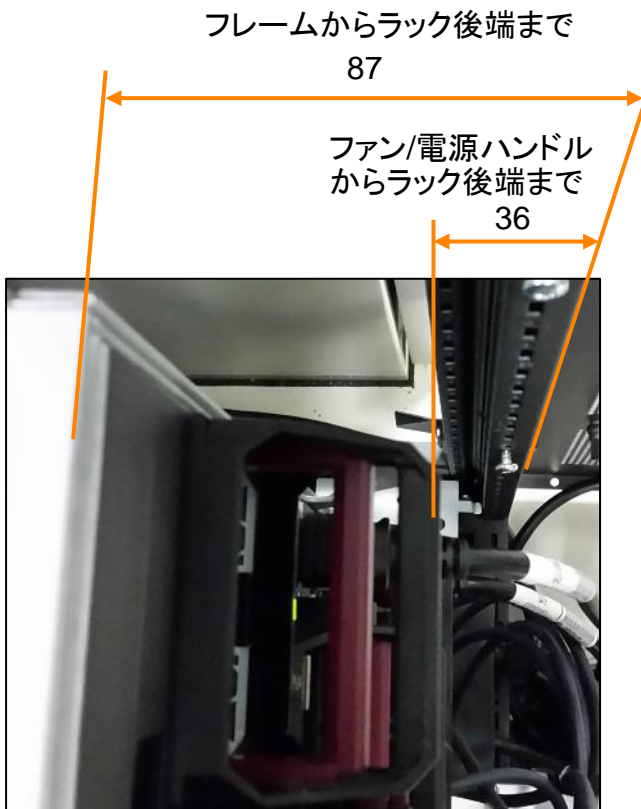
- リアドアまでのスペースが狭く、PDU/拡張バーを取り付けるスペースも限られるため、PDU/拡張バーや、そこに挿した電源ケーブルと、Synergyに搭載されたコンポーネントや
- 接続されたケーブルが干渉したり、メンテナンスを妨げる場合があります。
- PDU/拡張バーの取り付け位置を調整したり、向きに配慮することが必要です。
- 1200mmラックのご利用をお勧めします。



実機検証③: 奥行き1000MMラック

• モデル 10642 ラックの場合

- リアドアまでの間隔が非常に狭く、ケーブルにリアドアが干渉します。
(リアドアを閉じることができません。)
- 1200mmラックのご利用を強くお勧めします。



情報源のご案内

- HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide
 - <https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=c05348284>



THANK YOU

